



左から岩間さん、山上さん（うしろは、生産者たちの写真）

JAめむろを担う精鋭たち

めむろファーマーズマーケット運営協議会

会長（4代目） 岩間 崇浩（いわま たかひろ）

初代会長 山上 美樹彦（やまかみ みきひこ）

農山漁村における地域の活性化や、個性的で魅力ある地域づくりの優れた活動を紹介するシリーズ。

今回は「わが村は美しく北海道」運動第6回コンクールで奨励賞を受賞した「めむろファーマーズマーケット運営協議会」代表の岩間崇浩さん、初代会長山上美樹彦さんにお話を伺いました。

《小さな無人直売所「愛菜屋」スタート》

初代会長の山上さんは、北海道外で野菜の勉強をした後、平成6年、6戸の生産者で無人の小さな野菜直売所「愛菜屋」をオープンさせました。当時は直売所などがほとんどなくあつという間に地元でも評判のお店になり、売り上げもどんどん増えていきました。他の農家さんからも直売所を出したいという要望が多くあったため、平成13年、JAめむろが一手に引き受け、野菜を愛する会員20名で「愛菜屋」が新たにスタートしました。その後、平成14年に「ファーマーズマーケット運営協議会」が発足、品質を求め生産者たちの輪を保つのに苦労しながら、平成18年に現店舗に新築移転し、現在会員は80数名に上っており、今年で生誕30周年を迎えました。



たくさんの野菜が並ぶ大盛況の「愛菜屋」

《大盛況のひみつ☆》

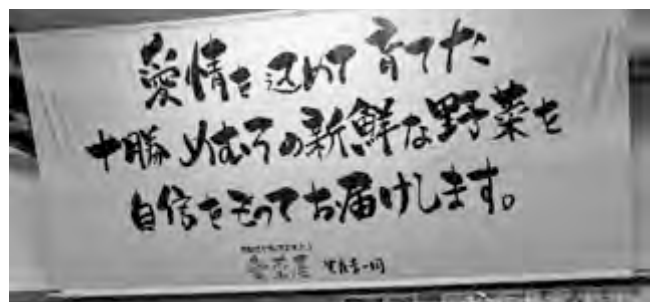
この店舗は、『郷の食産広場めむろみのりーむ』敷地内にあります。100台以上の駐車場を完備し、当会員が出店している「あいす屋」のほか、十勝で有名なパン屋、カレー屋等が立地しており連日賑わっています。中でも野菜直売所「愛菜屋」は毎朝開店前から人が並び、週末は千人以上が来店します。

この大盛況の野菜直売所のポリシーは、「残った野菜は次の日には売らない」ということ。その日収穫した野菜だけを売るというこだわりです。また、スーパーには売られていない珍しい野菜や加工品が並び、訪れた人の目を奪います。

《野菜づくりに向き合う生産者たち》

運営協議会では、めむろ産の安くて美味しい野菜を届けたいとの思いから、手間のかかる品種の価格設定の見直しなど、日々生産者のモチベーションを下げないように取り組んでいます。

店舗の中央に、ひときわ目立つ大きな旗があります。生産者たちの写真が添えられた旗には、JAめむろを担う生産者たちの野菜づくりに対する意気込みが感じられました。



「愛菜屋」のInstagram



※当協会ホームページ、開発調査総合研究所・調査研究報告書から「わが村は美しく北海道」運動第1～9回受賞団体の活動概要をまとめた冊子をご覧ください。